

地域公共交通への自動運転の導入支援業務 提案書作成要領

広島県が実施する地域公共交通への自動運転の導入支援業務に関し、プロポーザル参加者が提案書を作成するために必要な事項は次のとおりとする。

なお、地域公共交通への自動運転の導入支援業務仕様書の趣旨に沿って提案すること。

1 提出書類

書類名	様式	部数	備考
提案書提出添書	別紙様式 (A4版)	1部	—
提案書	任意 (A4版)	正本1部 副本9部	—
見積書	任意 (A4版)	正本1部 副本9部	—
提案者の組織・概要が分かる資料	任意 (A4版)	1部	・既存の資料（パンフレット等）

2 提案書の作成等

(1) 規格

ア 用紙は、原則A4版両面使用とし、縦置き横書き（横綴じ）とすること。ただし、図表の表現の都合上、用紙および記述の方法を一部変更することは差支えないものとする。

イ ページ番号は目次を除き通し番号とし、各ページの下部中央に印字すること。

ウ 製本、糊付け等をせず、クリップ等の簡易な方法で留めて提出すること。

(2) 提案書の作成要領

ア 提案書記載事項一覧（別紙）に掲げる事項を任意様式で記入すること。

イ 提案書の副本は、審査資料として使用するため、会社名、住所、ロゴマークなど、プロポーザル参加者を特定できる表示を記載しないこと（提案者に言及する際は「当社」等と記載）。

(3) 見積書の作成要領

ア 提案する業務の実施に要するすべての経費を計上すること。

イ 積算の内訳を具体的に記載すること。

ウ 消費税及び地方消費税相当額を含めた総額を記載すること。

エ 総額が事業予算額（上限）を超えた場合は、失格とする。

提案書記載事項一覧

別紙

提案書の記載項目	記載事項	評価項目・基準	配点	係数	点数
1 業務の方針	○業務の目的及び目指す姿	○本業務の背景や課題を理解した提案となっているか。	5	1	5
2 地域公共交通への自動運転の導入支援業務					
自動運転導入に向けた事前調査及び実現可能性調査／導入計画策定支援共同事業化の検討	○地域課題の把握と関係者間の調整の方法 ○自動運転導入の技術的な実現可能性の検証方法 ○自動運転導入の技術的な課題とその対応方法 ○自動運転導入の費用及び費用対効果の算出方法 ○自動運転の導入計画策定方法 ○共同事業化の検討	○該当地域の課題を把握し、その特性や課題に対応するための具体的なアプローチを提示しているか。	5	1	5
		○自動運転技術に関する知識や経験が十分であるか。	5	3	15
		○地域特性（道路環境や住民ニーズ）に応じた車両や運行形態を提案できるか。	5	1	5
		○自動運転導入に伴う技術的課題を適切に想定し、その対応策について提示できる専門的な知見やノウハウに基づく提案がなされているか。	5	4	20
		○自動運転の導入の有無による事業コスト並びに直接及び間接効果について比較評価し、実現可能性を調査する提案となっているか。	5	2	10
		○県内の複数市町や交通事業者が共同で自動運転の推進を進めていく共同事業化に関する提案を含み、自動運転の将来的な社会実装に資することが期待できるか。	5	1	5
3 業務執行体制					
(1)業務執行体制	○本業務を確実に実施するための業務の執行体制	○進捗管理や県との協議内容の共有が円滑に行える体制が確保されているか。	5	1	5
(2)業務執行スケジュール	○本業務の実施スケジュール	○計画的で無理のないスケジュールとなっているか。	5	1	5
4 類似業務の実績	○過去に受注し完了した類似業務の実施年度、業務名、業務内容（簡潔に）、発注者、契約額（千円単位、税込額）	○過去の業務経験に基づく知識やノウハウの活用が期待できる業務実績を有しているか。	5	1	5
5 本業務の目的に応じたその他の提案	○仕様書で指定した業務内容以外で実施可能な事項	○成果をより上げることが期待できる有益な提案となっているか。	5	1	5
6 見積額	※見積書を提出	○次の算定式による。 配点（5点）×（提案者中の最低見積金額）／当該提案者の見積金額 ※小数点以下を四捨五入	5	1	5
		○提案に応じた業務内容が計上されているか。	5	1	5
合 計			-	-	95

別記様式

地域公共交通への自動運転の導入支援業務
に係る提案書

令和 年 月 日

広島県知事様

所在地
商号又は名称
代表者職氏名

	担当者名	
連絡先	電話番号	
	FAX 番号	
	メールアドレス	

この業務を受託したいので、提案書（正本1部、副本9部）を提出します。